



桜谷小
保健室
H28. 12. 1

<おうちのみなさまへ> インフルエンザシーズン到来!

厚生労働省は、25日インフルエンザが全国的な流行期に入ったと発表しました。検出されたウイルスはA香港型、H1N1型、B型です。



本校も気温が下がるにつれて、インフルエンザはないものの発熱や咳、胃腸かぜの欠席者が出ています。日野町周辺の東近江市や竜王町ではすでにインフルエンザが発生しています。

今後も風邪をはじめインフルエンザ、そして感染性胃腸炎もその合間をぬって発生します。これらの感染症の拡大をさけるために、咳やくしゃみで他の人にうつさないためのマスクの着

用や口と鼻を押さえる「咳エチケット」、手洗いを心がけるとともに、加湿、予防接種などを組み合わせて行うことでリスクを下げて予防していただきますようお願いいたします。

今年も 再度ご確認をお願いします

○毎朝、お子さんの「健康観察」をして、朝から微熱が出たり体調がすぐれない場合や欠席する場合は、その症状などを学校に連絡ください。

○高熱等でインフルエンザが疑わしい場合は、マスクをつけて医療機関を受診されると思いますが、症状が出て間もないときは検査結果が正確に出ないことがあります。検査反応時間は発熱後12～24時間経過していると反応が出やすいと言われています。

流行期間中は、医師が検査をされないで、「流行っているからインフルエンザで

しょう。」と診断されることもあります。学校へは、「わかる範囲内」のことを連絡してください。あえて学校に何型かを伝えるのに、再度診察に出向いてまで検査を



していただく必要はありません。

○「微熱なので学校に行かせました。」こんなケースの中に、実は「インフルエンザ」だったということがよくありました。「予防接種」を受けていると、重症化しにくい
ため、「普通の風邪」と思い込んでしまうことがあります。そのことで知らないうちに感染を
拡げてしまうおそれがあります。軽症でも登校のときは必ず「マスク」を着用させて
ください。

○「インフルエンザウイルス」は、患者の体内に7日間存在すると言われています。
回復しても、登校後しばらくは必ずマスクを着用させてください。マスクをしてい
ないときは学校で着用させることもあります。

○「インフルエンザ」と診断された場合は、症状や家族の様子、医療機関など、わ
かる範囲内の内容を学校に連絡ください。インフルエンザは「出席停止扱い」とな
り欠席になりません。「発症後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで」は登
校できませんのでしっかり休ませてください。＜保存版：裏面を参考にご利用くだ
さい＞

○家庭や兄弟間での感染を防ぐため、家の中
でも「マスクの着用」をして接触をひかえま
しょう。

○学校以外の場所で感染する可能性は多々
あります。習い事教室やスポーツ少年団等
での流行の様子にも気を配りましょう。

○「出席停止期間」は、抗ウイルス薬の服用
によって熱が早く下がるようになりました

が、感染力は変わりません。「熱が下がって元気になった。」と感染力が残ったまま
で登校するケースが増えていることから出席停止期間が延長されています。集団で
の流行拡大を防ぐために必要な措置ですので、ご理解とご協力をお願いします。



肌着を着よう

肌着は汗を吸い取ってくれるため、体を汗で冷やさな
いですみます。保温効果もあるので、肌着を着るだけで
+4℃は温かく感じます。上着を重ねるよりも効果は抜
群です。Tシャツではなく、肌着を身につけさせましょ
う。機能性インナー、防寒下着等を活用するのも効果が
あります。

